

2022年度 独創的研究助成費 実績報告書

2023年 3月 31日

報告者	学科名	子ども学科	職名	助教	氏名	児玉太一
研究課題	ビデオイメージを用いた作品制作と理論研究					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表	児玉 太一	保健福祉学部・助教	版画・映像	代表	
研究実績の概要	分担者					
	<p>実作品の制作と国内外での発表活動を中心に研究活動を行った。本研究のテーマとしたビデオイメージを素材とした作品、After Image は2012年頃より継続的に制作している作品シリーズで、ビデオカメラで撮影した映像を連番出力した静止画像とシルクスクリーンからイメージを構築している。過去に撮影した被写体は「布を切る」、「工作をする」、「髪を切る」などいずれも人間の様々な手の動作を被写体に展開し、今年度、取り組んだ作品も同様の被写体から真俯瞰による撮影を行った。4分20秒程度の映像は動画編集ソフト Adobe Premiere によって秒間29.97枚の静止画像にし（図1）、約7000枚の画像の中から選んだイメージをシルクスクリーンによって透明アクリル板や紙にプリントした。プリントした10枚程度のイメージはメディウムによって希釈した3種類の透明度を与えたCyan, Magenta, Yellow, Blackのプロセスカラーによって支持体に重ね合わせる。イメージは1枚のみではインクの透明感によって淡く判然としないが、各イメージが重なり合うことで濃度を持ち、色彩があらわれる。このイメージは、同一の被写体を撮影したビデオであるが、連番出力された際の時間の差によってわずかに手や物などのイメージの位置が異なる為、同一のイメージでありながら、重なり合う部分や、生ずるずれから独特の揺れを持った作品が完成される。このプロセス自体は支持体を変わらず同一であるが、アクリル板にプリントされた作品は、アクリル板の両面に積層している。その為、重層するイメージは時間の差によるずれと、アクリル板の厚みによる物的なずれの二重のずれが生ずる。このアクリル板の厚みによって、鑑賞する角度によってイメージのずれが生じる視覚的な効果を生み出している。</p>					
						
図1 Adobe Premiere からの静止画像出力			図2 After Image_22_01, 2			

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>本研究で取り組んだ作品は、韓国基礎造形学会ロサンゼルス大会での作品発表と共に日本基礎造形学会福岡大会で展示を行った。日本基礎造形学会、九州産業大学美術館において発表の After Image_22_01, 2 (図2) では同一のイメージから出力したイメージをアクリルの表裏、いずれにどのイメージをプリントするのか、また、インクの透明度の違いなどのいくつかの選択によって、異なる4枚のヴァリエーションを制作し、内2枚を組み合わせたユニット作品で展示を行った。このヴァリエーションによる展開が、他のシリーズにおいても代表者の制作活動を持続させる通底するプロセスであり、近現代の美術家にも観察できるものである。この意義と作品毎のプロセスについては次年度、基礎造形作品集において、執筆の予定としている。また、代表者の本研究と関連する作品は今年度、V International Miniprint Cantabriaにおいて Second Prize、第21回南島原市セミナーヨ現代版画展において朝日新聞社賞を受賞した。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>1) “2022 KSBDA ロサンゼルス大会 International Invitational Exhibition 「多様性とシンクレティズム Diversity & Syncretism」 ” 作品発表 発表作品：“After Image_18_03”, 概要集：p511 掲載, 発表年月日：2022年7月13日～22日</p> <p>2) “第33回福岡大会「SDGsと基礎造形 -ツナガルデザイン-」 ” 作品発表 発表作品：“After Image_22_01, 02”, 概要集：p29, 発表年月日：2022年8月27日～29日</p> <p>3) “V Mini Print International Cantabria ” 発表作品 “Graftage_22_06” (Second Prize 受賞) 場所：Faro Gabo Mayor Art Center (カンタブリア、スペイン) 展示期間：2022年8月31日～12月31日</p> <p>4) “2022 KSBDA International Fall Conference and Exhibition 「情報宇宙と新造形 Info-universe and」 ” 作品発表 発表作品：“Light/Color_22_01, 02, 03, 04”, 概要集：p511 掲載 発表年月日：2022年10月29日～11月4日</p> <p>5) “第21回南島原市セミナーヨ現代版画展”, 発表作品 “Scenery over the re_23_01” (朝日新聞社賞受賞), 場所：南島原市ありエコレジヨホール (長崎) 他2箇所巡回, 発表年月日：2023年2月18日～2月26日</p> <p>6) “Kitchen Print Bienial 2022/2023 ” 発表作品 “After Image_22_03 ” 場所:Center culturel de la Ville d’Épinal, (エピナル, フランス) 展示 (予定) 期間:2023年7月13日～29日</p>